

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ami amie			
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～	令和6年 11月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～	令和6年 11月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが伸び伸びと過ごすことが出来る。	伸び伸びとした空間の中で、楽しみながら他児との関わりを深められるよう支援をしています。 また、年齢の異なる児童と過ごす中で、思いやりや譲り合いの心、協調性、社会性が身につけられるよう支援をしています。	集団活動の機会を増やし、より色々な児童と関わりの持てるようにしていきたい。
2	指導員が利用児と信頼関係を深め、子どもたちが自分の思いを伝えられる、子どもの変化に気付く、安心して過ごせるようにしている。	利用児との時間を大切に、一緒に楽しみながら関係を深められるように支援をしています。	今後も継続して、安心して過ごせる環境づくりをしていきたいと思います。
3	季節の行事に合わせた製作活動	季節の変化に気づき、自然や文化への関心を深める、創造性の向上、手指を使う、作品を完成させることで達成感や自信を得る、想像力を養うなど、季節の行事の製作活動を通して様々なことを感じることの出来るよう意識しています。	現在は、製作する物を職員のみで考えていますが、子どもたちと「どんな物を作ろうか？」と一緒に考える、個別ではなく、利用児全体で一つの作品を作るなどにも挑戦してみたいと思います。
4	送迎時間・送迎場所などの調整	保護者様のご要望に可能な限り応えられるよう、送迎時間や送迎場所の調整等を行うことで、保護者様の負担の軽減に繋がっています。	今後も可能な限り、保護者様のご要望に対応が出来るようにしていきたいと思います。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	視覚支援が不十分	日々のスケジュールや時間の視覚化や、絵カードの使用など、視覚支援が使えていない。	スケジュールを提示する。必要な児童には個別スケジュールを作成し、視覚化する。
2	職員が障がいの特性、対応等の知識が不十分	研修を受講しても、他の職員への共有がしっかり出来ていない。個々の勉強不足。	研修や利用児との関わりを通じて、興味を持ち、知識を深めていけるようにしていきます。 各職員が得た知識や情報を日々の打ち合わせなどの中で積極的に共有をしていく。
3	保護者同士、地域の場の活用や、利用児以外の子どもと活動をする機会がない	学校休業日にお出かけをすることはあるが、利用児以外の子どもの交流は出来ていない。 保護者同士が顔を合わせる機会がない。	公共施設を積極的に利用するなど地域の場の活用を通し、利用児以外の子どもの交流も出来るようにする。 親子参加のイベントを企画・検討していきたい。